

視聴覚教育

NO 171

発行日
3. 3. 1発行
岡崎市AVL

編集

広報委員会

岡崎の視聴覚教育の一年

年度当初、本年度の研究主題を「視聴覚教材・機材を生かした授業のあり方を追究しよう」とし、広報、研修、機材、自作の四委員会を設置して、視聴覚教育活動がスタートした。そして、この一年、各委員会の活動を中心に、各方面での取り組みが行われ、多くの成果をあげてきた。

また、平成三年度の愛知県学校視聴覚教育研究大会の会場校として、細川小学校と新香山中学校が選ばれ、現在両校で研究が進められている。なお、大会は、平成三年一月一日二日の予定である。

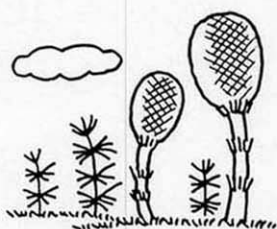
一方、年度末には、市内の九中学校に、ネットワークシステムを備えたパソコン教室が設置されることになっており、現在その工事等が行われている。また、美川中学校では、パソコンを活用した授業の研究が行われ、平成二年一〇月には、その成果を発表している。いよいよ、

パソコンを活用した授業が本格化することになる。岡崎の視聴覚教育活動としての一年を振り返ってみると、本年度も、県はもとより、全国においても高い評価を得ることができた。

全国に目を向けてみると、まず、平成二年五月に、甲山中学校が、第一回松下視聴覚教育研究賞論文で文部大臣表彰を受けたことである。そして、それに続いて、八月には、元岡崎市教育長鈴木正弘先生が、視聴覚教育功労者として文部大臣表彰を受けられた。また、全国放送教育賞論文においては、寛美鈴教諭（藤川小学校）、山田賛平教諭（竜南中学校）の論文が入賞した。そして、日本視聴覚教育賞論文においては、井田小学校が奨励賞を受賞し、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、ビデオ作品「岡崎のハウス団地」が入賞した。さらに、第二回松下視聴覚教育研究賞論文で、井田小学校が理事長賞となり、平成三年五月に、表彰されることとなっている。

県関係においては、平成二年七月に行われたNHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会での六つの入賞から始まった。続いて、NHK杯小学校放送コンテスト愛知県大会では、アナウンス部門で、最優秀賞（井田小学校）・優秀賞（井田小学校）を受賞した。そして、県自作OHPIITPコンクールでの三六点の入賞、県自作視聴覚教材コンクールでの、最優秀賞を含む応募作品七点すべてが入賞することとなり、一年

のまとめに花を添えることとなった。



平成二年度

県自作視聴覚教材コンクール結果

最優秀賞をはじめ七点入賞

平成二年度(第三五回)愛知県自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会が、二月一三日(水)に愛知県教育センターで開催された。本年度の応募総数は一五三点であり、うち入賞数が五七点であった。なお、岡崎からは、七点を出品し、最優秀賞を含め、七点すべてが入賞した。

★最優秀賞

ビデオ「松くい虫を追って」(中三理科)

★優良賞

視聴覚ライブラリー・現職教育理科部

ビデオ「肉牛を育てる」(小五社会)

ビデオ「生活を守るために」(中三社会)

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

ビデオ「Hello, AET」(中二英語)

現職教育英語部視聴覚研究部

ビデオ「にもつの旅」(小五社会)

★佳作

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

ビデオ「生きがいを求めて」(一般)

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

ハミリ「三河万歳」(一般)

なお、審査委員長から、次のような講評・助言をいた

だいた。

- 映像はきれいであり、よくまとまっている。
- しかし、制作者のメッセージが、見る側にダイレクトに伝わってこないものが多い。
- ラストコメントはよく考える必要がある。

ライブラリーだより

★寄贈ビデオの紹介

- 「献血」言葉だけ知ってても、献血のすすめ
- ODAってなあに？ ～マサル君は学んだ～
- 岡崎国立共同研究機構紹介ビデオ
- 「日本とヨーロッパを結ぶ海運」(中学校社会科)
- 「文珍の歴史なんなんだ！」
- 「雪とのふれあい」乗鞍の家
- その他、本年度もたくさんさんの寄贈がありました。

★「第二回松下視聴覚教育研究賞 理事長賞」受賞！

井田 小学校

「学ぶ喜びを高める視聴覚メディアの活用」

★新年度の教材配達サービス

一学期の教材配達は4月17日(火)から行います。

※編集後記※

多くの成果をおさめた視聴覚部の活動を紹介してきました。さらに、岡崎の視聴覚教育を発展させるために豊富な情報をお知らせしていきたいと思えます。

